

## 横須賀市の復田棚田に出現した ミズオオバコ

山本 薫\*・辻 功\*\*

*Ottelia alismoides* (Hydrocharitaceae)  
occurred in the rehabilitated rice terrace  
from Yokosuka City

YAMAMOTO Kaoru\* and TSUJI Isao\*\*

キーワード：ミズオオバコ，絶滅危惧種，復田，棚田，  
三浦半島

Key words : Duck-lettuce, endangers species,  
rehabilitated rice terrace, Miura  
Peninsula

ミズオオバコ *Ottelia alismoides* (トチカガミ科) は、北海道、本州、四国、九州、琉球、およびアジアとオーストラリアに分布する沈水性の水草である。本種は1年生で、水田、水路、ため池などに生育し、神奈川県内では県央を中心に沖積地～丘陵の

水田に分布している。本種は、神奈川県レッドリストでは絶滅危惧ⅠB類、環境省のレッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類となっている(神奈川県植物誌調査会, 2018)。

著者らは、2020年7月から9月にかけて横須賀市野比において横須賀市初記録となるミズオオバコを確認したため報告する。

標本：横須賀市野比かがみ田，20200824，山本 薫，YCM-V70268

葉身は卵形で、長さは5～10 cm程度、花弁は白色であった(第1図)。確認できた個体は2個体であった。そのうち1個体は7月から8月にかけて開花および結実したため、結実後に標本にした。

生育地であるかがみ田谷戸は、過去に水田利用されていた棚田であったものの、1980年代には既に耕作放棄地となっていた(野比ホテル調査会, 1990)。2015年から横須賀市による「かがみ田谷戸」の自然環境再生事業がはじまり、2016年以降は復田した水田が維持されている。2019年から2020年にかけて新規に棚田の整備が進められ、本種はその過程で水をひいた復田予定の湿地に出現した。これまでの調査で、本種は現地ならびに横須賀市内で確認されていなかったものの(大森・菅原, 1990)、1980年代



第1図 ミズオオバコ生態写真. かがみ田, 7月26日. 辻 功撮影

\* 横須賀市自然・人文博物館 〒238-0016 神奈川県横須賀市深田台 95

\*\* 〒239-0844 横須賀市岩戸 4-1-6

原稿受付 2020年11月15日 横須賀市博物館業績 第761号

までは近隣の三浦市や葉山町において分布していた記録があるため（神奈川県植物誌調査会，2018），横須賀市においても自然分布していた可能性が考えられる。本種には地上植生の消失後，30年以上経過して底質から実生発生が確認された例があり（西廣ほか，2016），本報もまた自然分布していた本種が底質に存在していた可能性を示唆するものである。神奈川県内では，耕作放棄地の復田によりミズオオバコ，イトトリゲモ，ミズニラ等の稀少な沈水性の植物が再生した事例があるため（藤吉ほか，2019），かがみ田における本種の出現についても，埋土種子が発芽した可能性がある。しかしながら，土壌とともに本種の埋土種子が移入された可能性も完全には否定できない。本種の横須賀市における生育実態を解明するためには，当該地域において底質中にある本種の埋土種子の有無や発芽可能性を検証すること，および復田箇所を増やして本種の分布域の把握を行う必要がある。今後の「かがみ田谷戸」の自然環境再生事業に際しては，継続して復田作業を実施するとともに，水生植物の分布を含めて評価することが望まれる。

本種の発見と確認にご協力いただいた鈴木茂也氏，天白牧夫氏，佐々木太郎氏，標本の作成にご協

力いただいた石橋美香氏，岩切千代子氏，金子龍次氏，中山博子氏，かがみ田谷戸の変遷ならびに保全・活用事業概要について情報提供くださった小川良登志氏，内船俊樹氏に感謝申し上げる。

## 引用文献

- 藤吉正明・深谷玲奈・市川佳奈・小栗和也・室田憲一 2019. 秦野市名古木の水田に生育する絶滅危惧植物の記録. 神奈川自然誌資料, (40): 15-18.
- 神奈川県植物誌調査会編 2018. 神奈川県植物誌 2018 電子版. 1803 ページ. 神奈川県植物誌調査会, 小田原.
- 西廣 淳・赤坂宗光・山ノ内崇志・高村典子 2016. 散布体バンクを含む湖沼底質からの水生植物再生可能性の時間的低下. 保全生態学研究, (21): 147-154.
- 野比ホタル調査会 1990. 横須賀市野比のホタルの生態. 横須賀市博研報 (自然), (38): 47-60.
- 大森雄治・菅原 敬 1990. 横須賀市野比の植物相と自然環境評価. 横須賀市博研報 (自然), (38): 29-42.